

地域包括ケア病棟部会 設立総会ならびに設立記念特別座談会 開催のご案内

平成26年度診療報酬改定において「地域包括ケア病棟」が新設されます。当会では、これまで長期急性期病床の機能の必要性を唱えてまいりましたが、本年4月より「地域包括ケア病棟」として、いよいよ制度化されることになりました。今回の改定では、急性期医療から在宅療養までを結ぶ線の要となるのが「地域包括ケア病棟」であることは明らかです。この病棟が担っていく役割は、高度急性期等からの患者の受け入れは勿論のこと、高齢者に特有の急性疾患もその対象となるでしょう。そこで、各地域での連携の下に「地域包括ケア病棟」を高い機能で運営できるよう、「日本慢性期医療協会 地域包括ケア病棟部会」を発足させ、質の担保と向上に取り組んでまいります。

下記のように設立総会ならびに設立記念特別座談会を開催いたしますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日本慢性期医療協会
会長 武久洋三

プログラム

平成26年5月15日（木） 会場：東京研修センター

15:30~16:15	地域包括ケア病棟部会 設立総会 挨拶 日本慢性期医療協会 会長 武久洋三 参加対象 地域包括ケア病棟申請済みまたはこれから申請する病院
16:15~18:00	設立記念特別座談会 プレゼンテーション I.行政の立場から 宇都宮啓（厚生労働省 保険局医療課長） II.高度急性期・大規模病院の立場から 定光大海（日本長期急性期病床研究会 副会長・ 国立病院機構大阪医療センター 救急救命センター診療部長） III.地域密着型小規模病院の立場から 池端幸彦（日本慢性期医療協会 副会長・池端病院 理事長） IV.7：1、亜急性期病床、障害者病棟、医療療養、介護療養などをもつ 総合的中規模病院の立場から 仲井培雄（日本慢性期医療協会 理事・芳珠記念病院 理事長） 座長：小山秀夫（兵庫県立大学大学院経営研究科 教授）
18:00	閉会

*プログラム内容につきましては、若干変更になる場合があります。予めご了承ください。